



hp x1000
ワークステーション

スタートアップ
ガイド

スタートアップ ガイド

HP x1000 ワークステーション



Manufacturing Part Number: A7777-90004

2001 年 10 月

© Copyright 2001 Hewlett-Packard Company

© Copyright 2001 日本ヒューレット・パカード株式会社

ご 注 意

1. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
2. 本書は内容について細心の注意をもって作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がございましたら当社までお知らせください。
3. お客様の誤った操作に起因する損害について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 当社では、本書に関して特殊目的に対する適合性、市場性などについては、一切の保証をいたしかねます。また、備品、パフォーマンス等に関連した損傷についても保証いたしかねます。
5. 当社提供外のソフトウェアの使用や信頼性についての責任は負いかねます。
6. 本書の内容の一部または全部を、無断でコピーしたり、他のプログラム言語に翻訳することは法律で禁止されています。
7. 本製品パッケージとして提供した本マニュアル、フレキシブル ディスクまたはテープ カートリッジ等の媒体は本製品用だけにお使いください。プログラムをコピーする場合はバックアップ用だけにしてください。プログラムをそのままの形で、あるいは変更を加えて第三者に販売することは固く禁じられています。

本書は著作権によって保護される内容が含まれます。本書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き、禁止されています。

All rights are reserved.

HEWLETT-PACKARD COMPANY
3000 Hanover Street
Palo Alto, California 94304 U.S.A.

日本ヒューレット・パカード株式会社
〒 168-0072 東京都杉並区高井戸東 3 丁目 29 番 21 号
TEL 03-3331-6111(大代表)

Adaptec® は、Adaptec, Inc. の登録商標です。

Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

nVIDIA™、GeForce2 GTS™、Quadro2 PRO™ および Quadro2 MXR™ は、nVIDIA Corporation の登録商標または商標です。

Matrox® は、Matrox Electronic Systems Ltd の登録商標です。

Microsoft®、Windows®、MS-DOS® および Windows NT® は、米国 Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

Pentium® および AGPset™ は、Intel Corporation の登録商標です。

WOL™(Wake on LAN) は、IBM の商標です。

Rambus および RDRAM は、Rambus, Inc. の登録商標です。

Direct Rambus、Direct RDRAM および RIMM は、Rambus, Inc. の商標です。

出版履歴

マニュアルの出版の日付および部品番号は、現在の版を示します。出版の日付は、最新版ができるたびに更新します。内容の小さな更新に対しては、増刷の際に対応し、出版日の更新は行いません。マニュアルの部品番号は、改訂が行われるたびに更新します。

新版の作成は、記載内容の訂正またはドキュメント製品の変更にもな行われます。定期的に Web サイトを参照して、最新のバージョンを入手してください。お手元のマニュアルが最新のものか否かは、担当の当社営業に確認してください。

第 1 版 : 2001 年 10 月

原典

本書は、『*Getting Started Guide HP x1000 Workstation*』(HP Part No. A7777-90003) を翻訳したものです。

1. ワークステーションのセットアップおよび使用方法

hp x1000 ワークステーションのセットアップ	14
取り付け工具	14
デバイスの接続	14
マルチメディア アクセサリの接続 (付属する場合)	17
電源コードの接続	18
コンポーネントの概要	19
カバーと前面ベゼルの取り外しと取り付け	21
ワークステーションのカバーの取り外し	21
前面ベゼルの取り外し	22
カバーと前面ベゼルの取り付け	24
ワークステーション コンポーネントの取り外しと取り付け	25
ワークステーションの起動と停止	26
ワークステーションの起動	26
ソフトウェアの初期化	26
システム修復ディスクの作成	27
ワークステーションの停止	27
HP 拡張マルチメディア キーボードの使用	28
メニュー キー	29
ワークステーション構成の表示	30
ワークステーションの構成	31
HP Setup プログラムの起動	31
Main メニュー	31
Advanced メニュー	32
Security メニュー	32
Boot メニュー	32
Power メニュー	32
HP Setup プログラムでのパスワードの設定	33
パスワードの設定方法	33
電源管理の使用	34
ソフトウェアおよびドライバの入手	34
CD-RW ドライブへの書き込みを行う前に (取り付けてある場合)	35
快適で安全な作業のために	36
作業環境の整備	36
作業時の姿勢	37
その他の人間工学上の問題	37

目次

2. ワークステーションのトラブルシューティング

ハードウェアの問題の解決	40
トラブルシューティングのヒント	45
鍵を紛失したら	46
より詳細な情報が必要な場合	46
ブート前の診断時の音による信号	47
ビープ音の回数が聞き取れなかった場合	47
HP DiagTools によるハードウェアの診断	48
e-DiagTools の入手方法	48
ハードドライブ上のユーティリティ パーティションから e-DiagTools を起動するには	49
CD-ROM から e-DiagTools を起動するには	49
HP e-DiagTools の実行	49
サポート チケットの作成	50
HP リカバリ CD-ROM	51
利用可能な機能	51
リカバリを行う前に	52
フル リカバリの実行	52
hp カスタマ ケア センタの電話番号	54

A. 保証および規制に関する情報

規制についての情報	57
FCC (for USA only)	57
HP ハードウェア保証	60
3 年間限定ハードウェア保証	60
保証限度	61
責任および補償の制限	61
出張保証サービスの受け方	61
お客様の責任	62
部品保証サービスの受け方	63
電話サポート サービス	63
HP ソフトウェア製品限定保証	64

まえがき

警告

感電の防止

警告

感電を防ぐため、電源装置を開けないでください。電源装置内部をお客様が直接修理することはできません。

感電およびレーザー光による眼球の損傷を防止するため、レーザー モジュールを開けないでください。レーザー モジュールは、保守担当者以外は点検・修理できません。レーザー部に対する調整は行わないでください。電力要件および波長については、CD-ROM ドライブに記載のラベルを参照してください。この製品は、クラス 1 のレーザー製品です。

カバーの取り外しと取り付け

警告

安全のため、ワークステーションのカバーを取り外す際には必ず電源コードをコンセントから抜き、通信ネットワークへの接続ケーブルをすべて取り外してください。ワークステーションに電源保護装置が取り付けられている場合は、オン/オフスイッチを使用してコンピュータをシャットダウンし、電源コードを抜いてからワークステーションのカバーを取り外します。必ず、電源保護装置のケーブルを取り外してから保守作業を行ってください。ワークステーションの電源を入れる前には、必ずカバーを取り付けてください。

安全に関する情報

警告 電池は正しく装着してください。破裂する危険性があります。安全のため、使用済みの電池を充電または分解したり、火気に近づけたりしないでください。電池を交換する場合は、同一または同等タイプのメーカー推奨の電池を使用してください。

ワークステーションに内蔵されている電池はリチウム電池で、重金属は含有していません。しかし、環境保護のため電池は一般の廃棄物として捨てないでください。使用済みの電池は、電池の販売店、ワークステーションの取り扱い店、または当社に返却してください。リサイクルや正規の方法での廃棄が行われます。

モデムをお使いの場合

警告 落雷の危険性がある間は、本製品を電話回線に接続しないでください。電話線のジャックを湿気のある場所で取り付ける際には、必ず、電話線をネットワーク インタフェースから外しておいてください。心線の露出した電話線または端子に触れる場合には、必ず、電話線をネットワーク インタフェースから外しておいてください。電話線を設置または変更するときは、注意して行ってください。落雷の危険性がある間は、電話の使用は避けてください(コードレス電話を除く)。落雷による感電の恐れがあります。

通信用のボードに触れたり、取り外したりする際には、まずはじめに電話回線との接続を切断してください。

№ 26 AWG 以上の電話線を使用してください。

警告 コンピュータ内の部品は高温になっていることがあります。手を触れる際には、部品の温度が下がるまでお待ちください。

静電気の防止

注意

静電気により電子部品が損傷することがあります。アクセサリを取り付ける際には、すべての機器の電源をオフにしてください。また、衣服がアクセサリに触れないようにしてください。静電気の影響を避けるため、アクセサリをバッグから取り出す際には、バッグごとワークステーションの上に置いた状態でアクセサリを取り出してください。必要以上にカードに触れないようにし、慎重に取り扱ってください。

人間工学についての情報

ワークステーションを使用する前に、このマニュアルの「快適で安全な作業のために」の項に記載されている人間工学についての情報をお読みになることを強くお勧めします。

お使いのワークステーションから、より広範な人間工学上の情報にアクセスするには、**スタート** ボタンをクリックし、**プログラム**、**HP Info**、**Working in Comfort** の順にクリックするか、当社の **Web サイト** (www.hp.com/ergo) にアクセスしてください。

ワークステーションのリサイクル

当社では、環境問題に対して積極的に取り組んでいます。**HP** ワークステーションは、環境に配慮した設計がなされています。また、当社では耐用期間が終了した旧型のワークステーションを回収し、リサイクルを行っています。製品の回収制度は現在、数カ国で実施しています。こうして回収された機器は、ヨーロッパまたは米国の当社のリサイクル施設に送られます。可能な限り多くの部品が再利用されます。また、部品を取り除いた残りの部分もリサイクルされています。電池をはじめ、有害物質には特別の処置がとられており、特殊な化学処理を経て無害な成分に還元されます。当社の製品回収制度の詳細については、最寄りの販売店または当社の営業所までお問い合わせください。

情報とサポートを得るには

目的	参照先
コンピュータの セットアップ	<ul style="list-style-type: none">• <i>x1000</i> インストール ポスター – ワークステーションに同梱。基本的な情報が記載されています。• 本書 – 基本的な情報が記載されています。
ワークステーションのトラブルシューティング、アクセサリのインストール、 HP Part 番号の検索	<ul style="list-style-type: none">• 本書 – 基本的な情報が記載されています。• 『<i>x1000 Technical Reference</i>』 – 詳細な情報が記載されています (Web でアクセス可能です。この「まえがき」の「当社の Web サイトからダウンロード可能なマニュアル類」を参照)。システム ボードのスイッチ、IRQ、DMA、I/O アドレス、消費電力と騒音放出テストの構成、ネットワーク接続の構成、部品の取り付け、トラブルシューティングなどの情報が記載されています。
サポート情報	www.hp.com/workstations/support (英語)、 www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語) – ダウンロード可能なマニュアル類、ドライバとユーティリティ、サービス オプションとサポート オプションが用意されています。
保証についての 情報	本書。付録 A の「 HP ハードウェア保証」または「 HP ソフトウェア製品限定保証」を参照してください。

当社の Web サイトからダウンロード可能なマニュアル類

HP ワークステーションの **Web** サイト (www.hp.com/workstations/support(英語)、www.jpn.hp.com/go/ws_support(日本語)) には、ダウンロード可能なマニュアル、サービス オプションやサポート オプション、最新バージョンのドライバやユーティリティなどの幅広い情報が無償で提供されています。

上記のガイドを表示および印刷するには、**Adobe** 社の **Acrobat Reader** がワークステーションにインストールされている必要があります。**Acrobat Reader** は、アドビシステムズ社の **Web** サイト (www.adobe.com(英語)) から無償でダウンロードできます。

hp x1000 技術特性

特性	hp x1000 ワークステーション
重量 (CD-ROM ドライブ 1 台の構成、キーボードとディスプレイを除く)	14.8 kg (32.5 ポンド)
寸法	幅 : 20.4cm(8.0 インチ)、 高さ : 47.8cm(18.8 インチ)、 奥行き : 44.0cm(17.3 インチ)
設置面積	0.09 m ² (0.97 平方フィート)
騒音放出値 (ISO 7779) 動作時 (待機状態):	音圧レベル LwA <=37.5dBA
電源装置 入力電圧 (入力電流、最大) 入力周波数 最大出力電力	100 - 127VAC、7.0A rms 200 - 250VAC、3.5A rms 50/60Hz 250W
最大消費電力	385 W(力率修正値 0.99)
保管時湿度	8 ~ 85%(相対湿度)
動作時温度	+10 °C ~ +35 °C (+40 °F ~ +95 °F)

注記

動作時の温度および湿度の範囲は、設置されている大容量記憶装置によって異なります。湿度レベルが高くと、ディスク ドライブの動作不良の原因となることがあります。湿度が低いと、静電気による問題が増加したり、ディスク表面が過度に磨耗したりすることがあります。

消費電力および騒音の数値は、標準構成の場合に該当します。その他の構成については、www.hp.com/workstations(英語) にアクセスしてください。

注記

前面パネルの電源ボタンでコンピュータの電源を切ると、消費電力は **3W** 以下に下がりますが、ゼロにはなりません。この方法で電源のオンオフを行う方が電源装置への負担が少なくて済みます。電源が「オフ」モードになっているときの消費電力をゼロにするには、電源プラグを抜くか、スイッチ付きの配電ユニットを使用します。消費電力がゼロの状態が長期間続くと、内蔵電池の寿命が短くなります。

1 ワークステーションのセットアップおよび 使用方法

本書は、hp x1000 ワークステーションの初期セットアップ、基本的なトラブルシューティング、保証についての概要を記載しています。

hp x1000 ワークステーションのセットアップ

警告 ワークステーションやモニタを安全に持ち上げられる確信がない場合は、一人で移動しようとししないでください。

1. ワークステーションのセットアップに必要なすべてのコンポーネントが揃っているか、ワークステーションに同梱の部品表で確認します。
2. ワークステーションを、電源コンセントに容易に接続できる場所に設置し、キーボードやマウス、その他のアクセサリを置く十分なスペースを確保します。
3. 背面のコネクタでの作業がしやすいようにワークステーションの位置を調節します。

取り付け工具

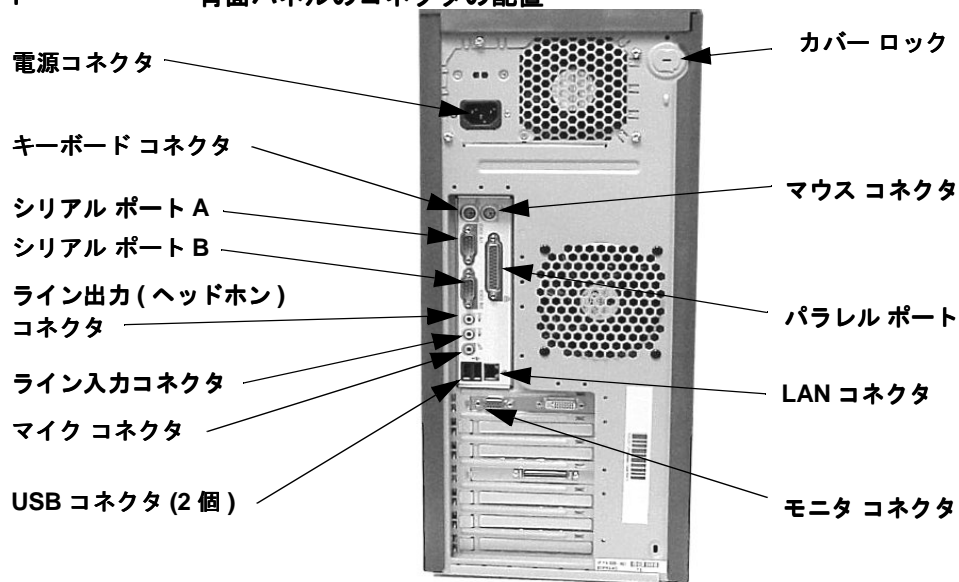
ワークステーションのセットアップには、工具は必要ありません。ただし、ワークステーション内部にアクセサリを取り付ける、あるいは交換する場合は、**T-15** トルクス ドライバーおよびマイナス ドライバーが必要になります。

デバイスの接続

ワークステーションにコードやケーブルを接続する前に、本書の「まえがき」に記載されている**注意事項**をよくお読みください。

プリインストールされていないグラフィックス カードを別途購入した場合は、この時点でグラフィックス カードを取り付けます。カードを取り付けるには、カードに付属する説明書を参照するか、『*x1000 Technical Reference*』（www.hp.com/workstations/support（英語）で入手できます）を参照してください。

図 1-1 背面パネルのコネクタの配置

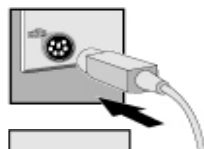


色分けされたコネクタには、同色のケーブルを接続してください。コネクタの形状は、決まった向きで差し込むようになっています。図 1-2 に一般的なコネクタを示します。

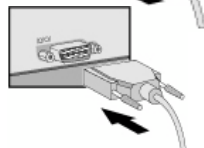
ワークステーションのセットアップおよび使用方法
hp x1000 ワークステーションのセットアップ

図 1-2

一般的なコネクタ形状



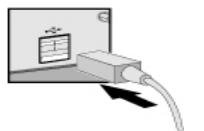
キーボード (紫)



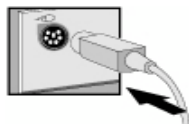
9 ピン シリアル コネクタ 2 個
(青緑)



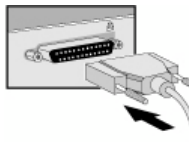
マルチメディア
マイク (ピンク)
オーディオ入力 (青)
オーディオ出力 (黄緑)
注記: オーディオ出力コネクタに
プラグを差し込むと、内部スピー
カーは無効になります。



USB コネクタ 2 個 (黒)

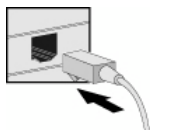


マウス (緑)



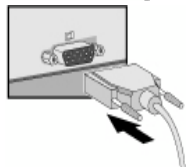
25 ピン パラレル コネクタ
(赤紫)

プリンタに付属のマニュアル
を参照してください。



LAN

LAN への接続にはネットワーク
カードのコネクタを使用します。



モニタ コネクタ

モニタに付属のマニュアルを参
照してください。グラフィック
カードのコネクタを使用してモ
ニタに接続します。

マルチメディア アクセサリの接続 (付属する場合)

警告

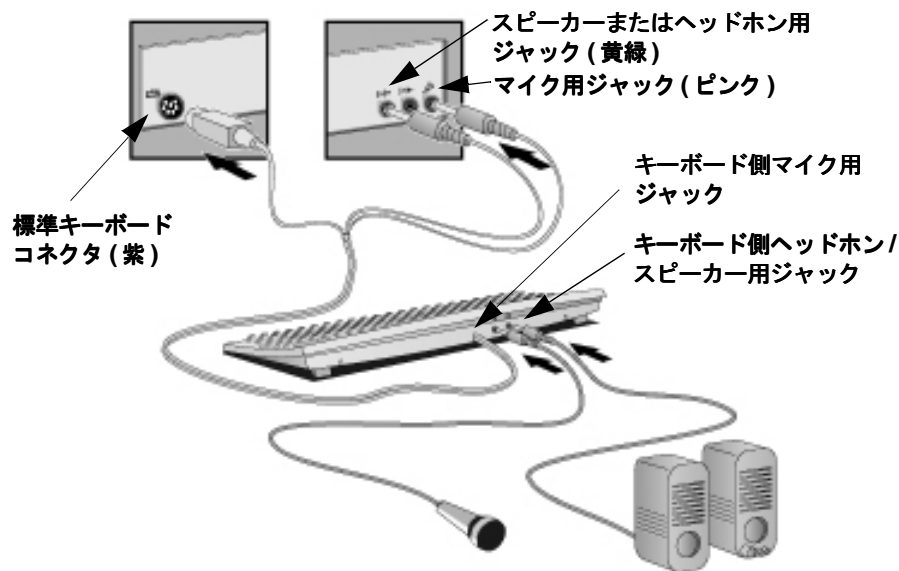
システムを起動すると、スピーカーとヘッドホンのボリュームは最大に設定されます。ヘッドホンやスピーカーを使用する前に、必ずボリュームを下げてください。こうすると、予期しない大音量や静電気を防止することができます。大音量のサウンドを長時間聴いていると、難聴になる恐れがあります。ヘッドホンを装着する前に、首にかけてボリュームを絞ってください。次にヘッドホンを装着し、快適な聴取レベルになるまでボリュームをゆっくり上げていきます。ひずみがなく、快適ではっきりと聴こえるようになったら、ボリュームの調整は終了です。

1. HP マルチメディア キーボードをワークステーションに接続します。コネクタは、簡単に対応付けられるように色分けされています。詳細は、この章の後半にある「HP 拡張マルチメディア キーボードの使い方」の項を参照してください。
2. マイクとヘッドホン (またはアンプ内蔵のスピーカー) をキーボードに接続します。

注記

スピーカーまたはヘッドホン用コネクタ (黄緑) にプラグを差し込むと、ワークステーションの内蔵スピーカーは無効になります。オーディオ機能を使用する場合は、ヘッドホンまたはスピーカーを接続するか、スピーカーまたはヘッドホンのコネクタ (黄緑) を外してワークステーションの内蔵スピーカーを使用します。

図 1-3 マルチメディア アクセサリの接続



注記 Smart Card Reader などのデバイスは、シリアル コネクタとマウス ポートの両方に接続してください。モデルによってはキーボードポートから十分な電力が供給されません。この場合は、キーボードポートを使用しないでください。

電源コードの接続

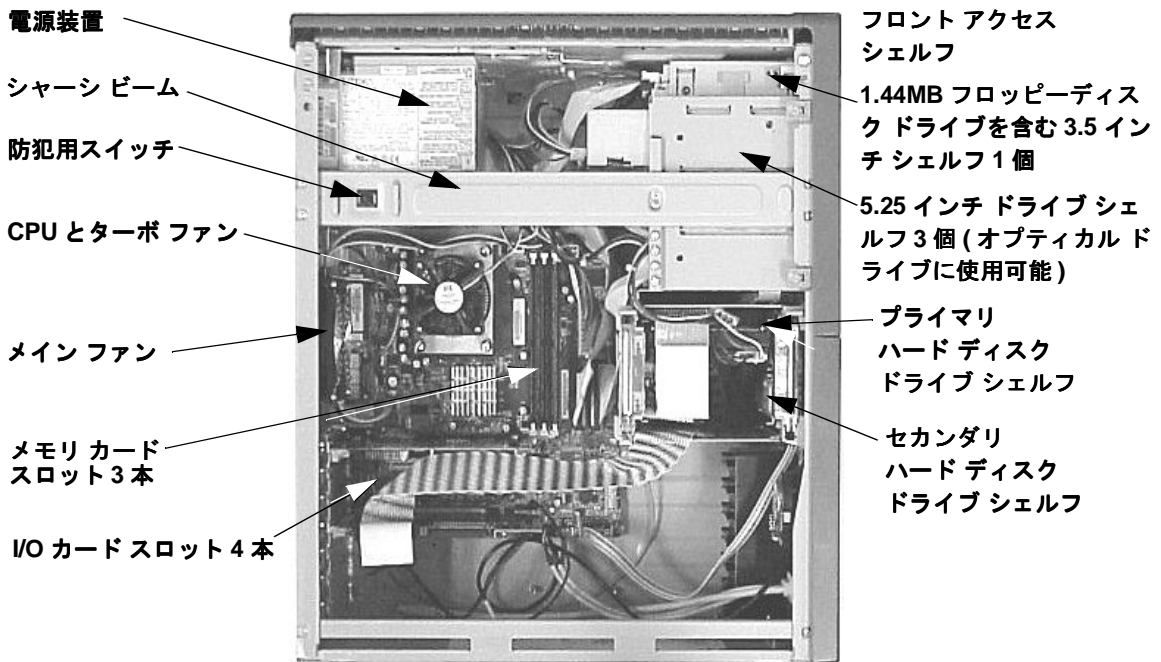
警告 安全のため、必ずアース付きの壁コンセントに装置を接続してください。電源コードは、この装置に付属するコードまたは国の安全基準に準拠したコードなど、適切にアースされたプラグ付きのコードを必ず使用してください。この装置は、電源コードをコンセントから外すことで電力が切断されます。電源コンセントの近くに装置を設置してください。

1. 電源コードをモニターおよびコンピュータの背面に接続します (コネクタの形状は、決まった向きで差し込むようになっていました)。
2. モニターの電源コードとコンピュータの電源コードをアース付きコンセントに差し込みます。

コンポーネントの概要

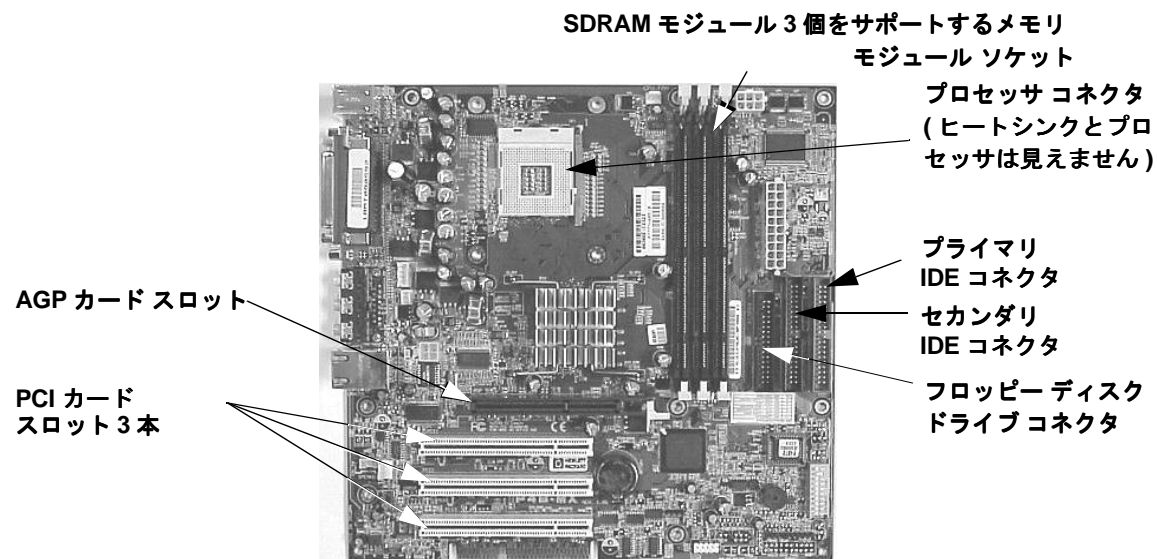
この項では、hp x1000 ワークステーションのアクセサリとハードウェア パーツの配置について説明します。

図 1-4 ワークステーション



サポートされているデバイスの最新リストについては、最寄りの代理店にお問い合わせいただくか、HP サポート Web サイト (www.hp.com/workstations/support (英語)、www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語)) で確認してください。

図 1-5 hp x1000 ワークステーションのシステム ボード



カバーと前面ベゼルの取り外しと取り付け

警告	安全のため、ワークステーションのカバーを取り外す際には必ず電源コードをコンセントから抜き、通信ネットワークへの接続ケーブルをすべて取り外してください。ワークステーションに電源保護装置が取り付けられている場合は、オン/オフスイッチを使用してコンピュータをシャットダウンし、電源コードを抜いてからワークステーションのカバーを取り外します。必ず、電源保護装置のケーブルを取り外してから保守作業を行ってください。ワークステーションの電源を入れる前には、必ずカバーを取り付けてください。
----	--

ワークステーションのカバーの取り外し

1. ディスプレイとコンピュータの電源を切ります。すべての電源ケーブルと LAN または通信ケーブルを取り外します。
2. 必要に応じて、ワークステーション背面のカバーロックをロック解除します。図 1-1 を参照してください。
3. カバーラッチを外側に引き出し、カバーの端を持って上に持ち上げるとカバーが外れます。図 1-6 を参照してください。

ワークステーションのセットアップおよび使用方法

カバーと前面ベゼルの取り外しと取り付け

図 1-6 カバーの取り外し



警告 コンピュータ内の部品は高温になっていることがあります。手を触れる際には、部品の温度が下がるまでお待ちください。

前面ベゼルの取り外し

前面ベゼルは 2 つの部分に分かれています。

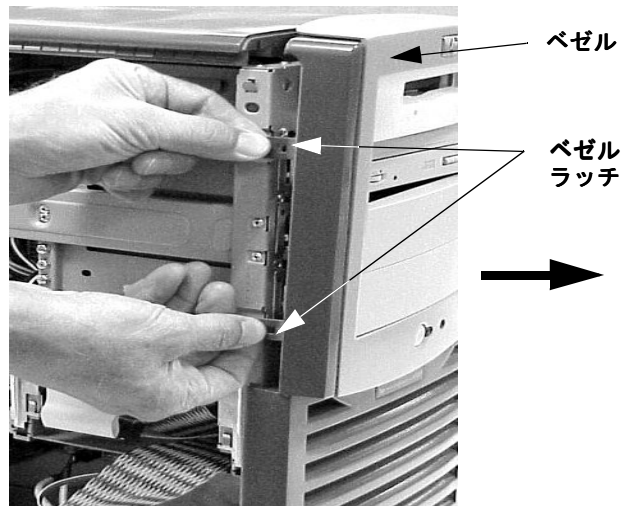
- 上部ベゼルからは、3 段の 5.25 インチ シェルフと 1 段の 3.5 インチ シェルフにアクセスできます。
- 下部ベゼルでは、FireWire コネクタと USB コネクタ 2 個にアクセスできます。下部ベゼルは取り外しできません。

上部ベゼルを取り外すには、以下の手順に従います。

1. ベゼル左側のベゼル ラッチ 2 個を外します。図 1-7 を参照してください。
2. ベゼルの少し開き外側にゆっくり押します。図 1-7 を参照してください。

図 1-7

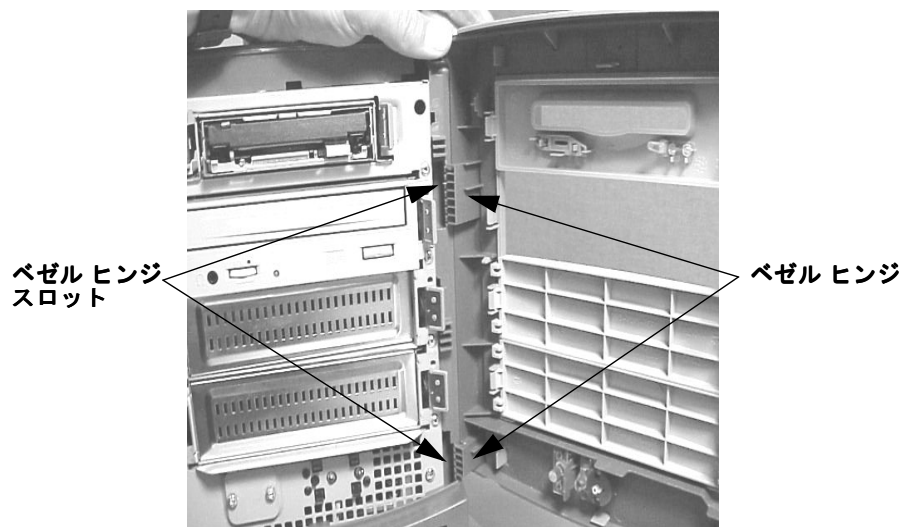
ベゼルの取り外し



カバーと前面ベゼルの取り付け

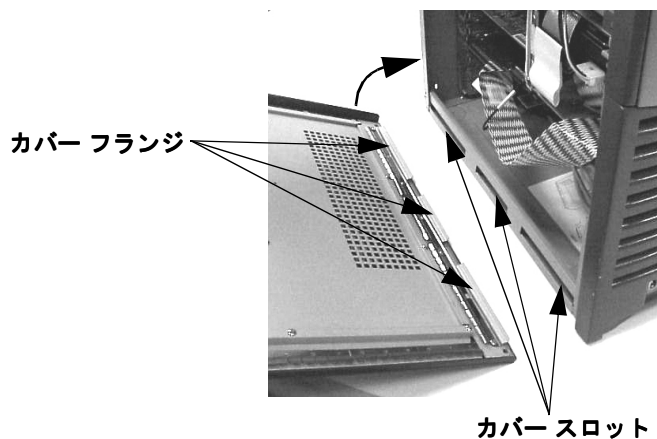
1. 内部ケーブルが正しく接続され、ケーブルが安全な場所を通っていることを確認します。
2. ベゼルの正しい向きで元の位置に戻します。シャーシ右側のベゼル スロットとプラスチックのベゼル ヒンジ 2 個の位置を合わせて、ベゼルの閉じます。図 1-7 に示すように、ベゼル ラッチがシャーシとぴったりと合わさっていることを確認してください。

図 1-8 ワークステーション側スロットへのベゼル ヒンジの挿入



3. カバー下端のフランジをワークステーションの下端のスロットに挿入します。図 1-9 を参照してください。次に、以下の図に矢印で示した方向に向けてカバーを回転して閉じます。カバーをしっかりと閉じるとカチッという音がします。

図 1-9 カバーの取り付け



4. 必要に応じて、ワークステーション付属の鍵でカバーをロックします。すべての電源ケーブルと通信ケーブルを再接続します。

ワークステーション コンポーネントの取り外しと取り付け

電源装置などのワークステーション コンポーネントの取り外しと取り付けについては、当社の Web サイト (www.hp.com/workstations/support(英語)) の『*x1000 Technical Reference*』を参照してください。

この Web サイトでは、ダウンロード可能なマニュアル、サービスおよびサポート オプション、ドライバとユーティリティの最新バージョンなどの広範囲の情報を無料で提供しています。

ワークステーションの起動と停止

ワークステーションにソフトウェアがあらかじめインストールされている場合、ワークステーションを最初に起動するときにソフトウェアが初期化されます。このソフトウェアの初期化プロセスには数分かかります。このプロセスでは、ソフトウェアでの使用言語の設定をするとともに、コンピュータに取り付けられているハードウェアを使用できるようにソフトウェアを設定します（ソフトウェアが初期化された後でも設定変更は可能です）。

ワークステーションの起動

1. ワークステーションを起動する前に、モニタの電源を入れます。
2. 以下のいずれかの方法でワークステーションを起動します。
 - 前面パネルの電源ボタンを押します。
 - キーボードのスペース キーを押します（マルチメディア キーボードが付属するモデルのみ）。
キーボード パワーオン機能は、システム ボードのスイッチが適切に設定されている場合にのみ使用できます（デフォルトで有効になっています）。
3. パスワードを入力し、**Enter** キーを押してワークステーションの使用を開始します。パスワード プロンプトはワークステーションの **Setup** プログラムでパスワードを設定した場合にのみ表示されます。

ソフトウェアの初期化

注記	ソフトウェアの初期化中はワークステーションの電源を切らないでください。予想外の結果を招くことがあります。
-----------	--

ソフトウェアを初期化するには、以下の手順に従います。

1. ワークステーションのスイッチを入れると、ソフトウェアの初期化プロセスが開始します。このプロセスでは、ソフトウェア ライセンス契約が表示され、「*Working in Comfort*」（コンピュータ ユーザーへの人間工学に基づいたアドバイス）を読むこともできます。その後、ワークステーションに関する入力項目が表示されます。
2. 初期化プロセスが終了したら、**OK** をクリックしてワークステーションを再起動します。

システム修復ディスクの作成

ソフトウェアの初期化中にメッセージが表示されたら、オペレーティング システムのシステム修復ディスクを作成してください。このディスクは非常に重要です。システム修復ディスクには、未使用のディスクを使用することをお勧めします。

修復ディスクを作成する方法の詳細については、アプリケーション ソフトウェアまたはオペレーティング システムに付属のマニュアルを参照してください。

ワークステーションの停止

ワークステーションを停止するには、アプリケーションをすべて終了してからスタート メニューの**シャットダウン**コマンドを使用します。電源を切るようメッセージが表示されたら、ワークステーションの電源ボタンを押します。

電源を切ることを求めるメッセージが表示されるまでは電源ボタンを押さないでください。ボタンを押してしまうと、開いているアプリケーションで保存していないデータが失われることがあります。

HP 拡張マルチメディア キーボードの使用

警告

キーボードや入力デバイスを長時間にわたって不適切に使用すると、手や腕の柔組織に反復性疲労障害 (RSI) をきたすことがあります。コンピュータ機器の使用時に不快感や痛みを感じた場合は、すぐに使用を中止し、できるだけ速やかに医師の診察を受けてください。

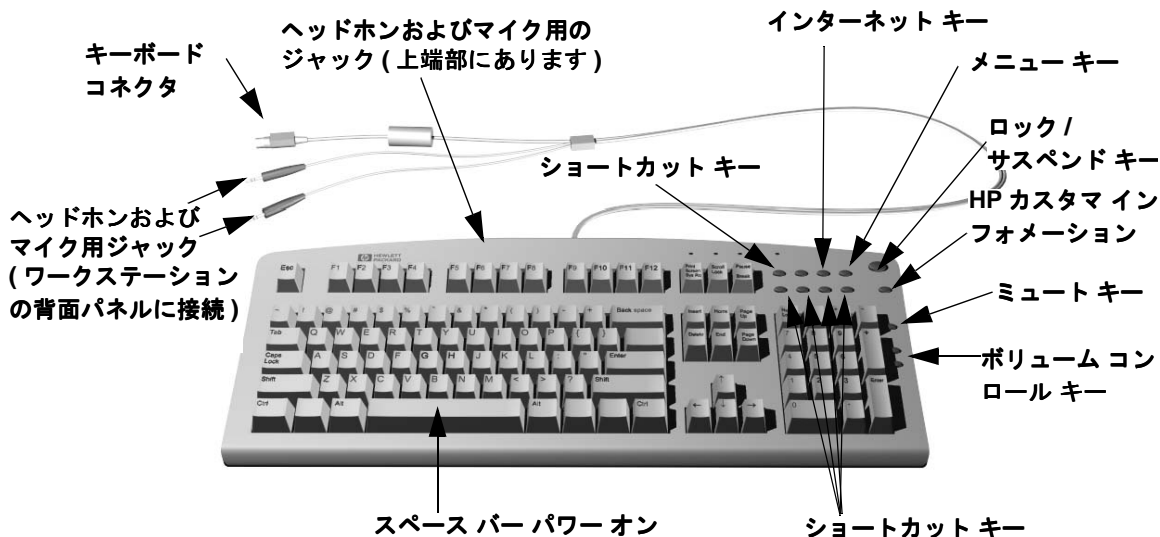
快適で安全に作業していただくことが最も重要であると、当社では考えています。このため、ワークステーションを使用する前に、当社の人間工学上の情報をお読みになることをお勧めします。詳細は、当社のオンラインバージョンの「Working in Comfort」を参照してください。「Working in Comfort」は、ワークステーションのハードディスクにプリインストールされているほか、当社の Web サイト「Working in Comfort」(www.hp.com/ergo) で入手できます。

本書の 36 ページの「快適で安全な作業のために」に概要を記載しています。

HP 拡張キーボードには、ソフト キーがあります。ソフト キーは以下のように使用できます。

- キーに割り当てた機能を表示または設定します。
- ワンタッチ ショートカットとして、アプリケーションの起動、ファイルのオープン、またはインターネット上の Web サイトへのアクセスを行うことができます。
- システムに付属するインターネット ブラウザを起動します。
- ワークステーションをロックまたはサスペンドします。
- オーディオ システムのボリュームをミュートまたは調節します。
- ヘッドホンやマイクをキーボードに直接接続することができます。このオプションを使用するには、オーディオ出力 (黄緑) とマイク (ピンク) のコネクタをワークステーションの背面パネルの対応するジャックに接続する必要があります。

図 1-10 HP 拡張マルチメディア キーボード



メニュー キー

“?” メニュー ソフト キーを押すと、画面上に **HP 拡張キーボード コントロール パネル**のソフト キー部分が表示されます。スクリーンに表示されたキーをクリックすると、個々のキーに割り当てられた動作が表示され、キーの動作を変更したり、キーに動作を割り当てたりすることができます。ショートカット キーは、ユーザー定義の動作を割り当てるために用意されています。

ワークステーション構成の表示

Summary 画面には、ワークステーションの現在の構成 (BIOS のバージョン、CPU の速度、メモリ モジュールのサイズ、インストールされている大容量記憶装置など) の概要が表示されます。

初めてワークステーションを使用するとき、またはアクセサリの取り付けや取り外し、アップグレードを行った後は、必ずワークステーションの構成を確認してください。構成を確認するには、以下の手順に従います。

1. ディスプレイ、ワークステーションの順に電源を入れます。ワークステーションの電源が既にオンになっている場合は、データを保存し、プログラムをすべて終了してから、ワークステーションを再起動します。ワークステーションの電源のオフおよび再起動に関する特別な手順については、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
2. 起動時のロゴがディスプレイに表示されたら、**Esc** を押します。これにより、**Summary** 画面が表示されます (**Setup** プログラムをすぐに起動するには、**Esc** ではなく **F2** を押して **Summary** 画面を省略します)。 **Summary** 画面は数秒しか表示されません。キーボードの **Pause/Break** キーを押すと、次に他のキーを押すまで **Summary** 画面が表示されたままになります。

ワークステーションの構成

Setup プログラムは、ワークステーションの構成や (たとえば、システムおよびユーザーのパスワードの設定、大容量記憶装置のインストールやアップグレード)、構成上の問題の解決に使用します。

システムの設定への変更内容は、すべて書きとめておくことをお勧めします。

HP Setup プログラムの起動

1. ディスプレイ、ワークステーションの順に電源を入れます。ワークステーションの電源が既にオンになっている場合は、データを保存し、プログラムをすべて終了してから、ワークステーションを再起動します。
2. 画面の下部に **F2 Setup** と表示されている間に、**F2** を押します。**F2** を押すのが間に合わず、起動プロセスが続行された場合は、ワークステーションを再起動し、電源投入時の自己診断が再度実行されてから **F2** を押さなければなりません。

ワークステーションの **Setup** プログラムの開始画面が表示されます。メイン メニューには、インストールされている **BIOS** のバージョンや日付と時刻などの、フィールドのリストが表示されます。

画面上部のバーに、メニューのリストがあります。左右の矢印キーを使用してメニューを選択します。

Main メニュー

Main メニューには、以下のようなフィールドのリストが表示されます。

- インストールされている **BIOS** のバージョン
- **Reset Configuration Data**
- **System Time**
- **System Date**
- **Key Click**
- **Key Auto-Repeat Speed**
- **Delay Before Auto-Repeat**
- **NumLock at Power-on**

デフォルトでは、「**Reset Configuration Data**」は **No** に設定されています。**Yes** を選択すると、システムの構成データがクリアされ、デフォルトの設定に戻ります。

Advanced メニュー

Advanced メニューにはサブメニューのリストがあります。サブメニューでは、以下の作業を実行できます。

- メモリ キャッシュ、USB ポート、インテグレートッド I/O ポート、内蔵型オーディオ デバイスの構成
- フロッピー ディスク ドライブ、IDE デバイス (プライマリおよびセカンダリ) の有効化
- ワークステーションのデバイスの設定

Security メニュー

サブメニューが表示されます。ここでは、**System Administrator Password**、**User Password**、**Power-on Password**、**Fixed Disk Boot Sector** の特性と値を変更したり、フロッピー ディスク、CD-ROM、IDE-HDD のドライブから許可なく起動することを防止したりできます (33 ページの「HP Setup プログラムでのパスワードの設定」を参照してください)。

Boot メニュー

BIOS がオペレーティング システムのブートを試行するデバイスの順序を選択します。**QuickBoot** モード オプションを選択すると、ブート時のテストが一部省略されます。これにより、システムのブートに必要な時間が短縮されます。

Power メニュー

Network Interface オプションを使用すると、ネットワーク インタフェースが特定のコマンドを受信したときにシステムを通常の動作速度に戻すことができます。

電源投入時の初期化パラメータを変更すると、**Setup** はシステムの動作を変更します。不正な値を設定すると、システムがブートできない原因になることがあります。このような状態になった場合は、**F9** を押してデフォルトのセットアップ値をロードして修復します。

HP Setup プログラムでのパスワードの設定

パスワードを設定して、さまざまなレベルでワークステーションを保護することができます。パスワードには、管理者パスワード、ユーザーパスワード、電源投入時パスワードがあります。これらのパスワードの設定は、**Setup** プログラムの **Security** メニューで行います。

管理者は、**Setup** プログラムのすべての設定にアクセスし、変更を加えることができますが、ユーザーは **Main** メニューの特定の項目にのみアクセスおよび変更できます。

Power-on Password オプションを有効にすると、ワークステーションをブートするたびにパスワードを入力しなければなりません。入力を求められたら、管理者パスワードまたはユーザーパスワードを入力します。

パスワードの設定方法

1. **Setup** プログラムを起動します。
2. **Security** メニューを選択します。
3. **Administrator** または **User** パスワードのサブメニューを選択します。
4. **Set Administrator** または **User Password** セットアップ項目を選択します。パスワードは2回入力する必要があります。

Power-on Password を有効にするには、**Enabled** セットアップ項目を選択します。

1. 変更を保存して **Setup** プログラムを終了するには、**Esc** を押すか、**Exit Menu** を選択してから、**Exit Saving Changes** を選択します。

パスワードを削除するには、パスワードの設定と同じ手順で行います。最初に既存のパスワードの入力が求められます。次に、新しいパスワードの入力フィールドを空白にしたまま、**Enter** を押します。さらに、確認のため再度 **Enter** を押します。

電源管理の使用

電源管理を使用すると、ワークステーションが待機状態のときに動作速度を遅くして、ワークステーション全体の消費電力を低減できます。消費電力についての詳細は、当社の **Web** サイト (www.hp.com/workstations/support(英語)) の『*x1000 Technical Reference*』を参照してください。

オペレーティング システムごとに電源管理機能は異なります。詳細は、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

ソフトウェアおよびドライバの入手

HP サポート **Web** サイト (www.hp.com/workstations/support(英語)) の「**Software and Drivers**」セクションでは、使用しているワークステーションに対応した最新のドライバや BIOS をダウンロードできます。

また、新しいドライバが提供された場合に、情報を自動的に入手するための登録もできます。

サポートされているデバイスの最新リストについては、最寄りの代理店にお問い合わせいただくか、**HP** サポート **Web** サイト (www.hp.com/workstations/support(英語)、www.jpn.hp.com/go/ws_support(日本語)) で確認してください。

CD-RW ドライブへの書き込みを行う前に (取り付けてある場合)

hp x1000 ワークステーションに装着されている CD-RW ドライブに対応した CD-RW 用ソフトウェアは、プリインストールされていません。CD-RW ドライブの書き込み / 再書き込み機能を使用する前に *Direct CD* および *Easy CD Creator* アプリケーションを Applications CD-ROM (ワークステーションに付属、またはアクセサリ キットとして提供されています) から手動でインストールしてください。この 2 つのソフトウェア アプリケーションのインストールは、以下の手順で実行します。

1. Applications CD-ROM を CD ドライブに挿入します。
2. インストール ウィンドウが表示されたら、言語を選択して **Easy CD Creator** をクリックします。次に、指示に従ってこのアプリケーションをインストールします。
3. インストール ウィザードに戻ったら、[**終了**] を選択して Applications CD をドライブから取り出します。[**はい**] を選択してシステムを再起動します。
4. 上記の手順 1 と 2 を繰り返し、今度はインストールするアプリケーションとして **Direct CD** を選択します。この一連の手順はシステムを再起動してログインしたときにのみ、再度実行する必要があることに注意してください。
5. インストール ウィザードに戻ったら、[**終了**] を選択して CD-ROM を取り出し、[**はい**] を選択してシステムを再起動します。
6. もう一度システムを再起動してから、CD-RW ドライブの全機能を使用してください。

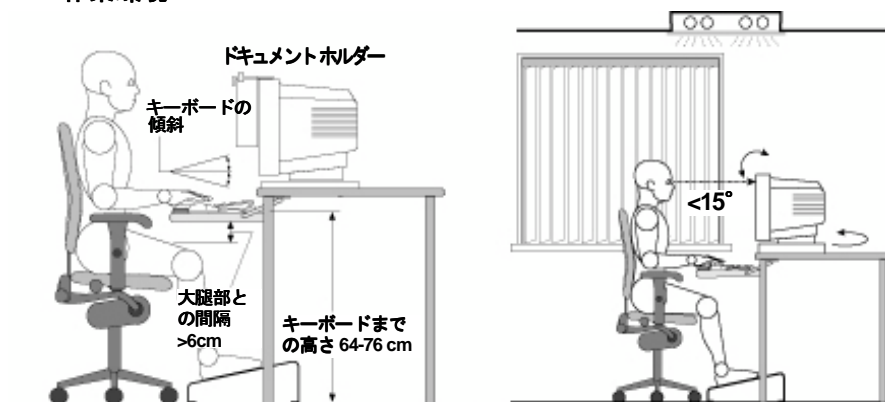
この 2 つのソフトウェア パッケージをインストールしない場合には、CD-RW ドライブの読み取り機能しか使用できません。

快適で安全な作業のために

作業環境の整備

コンピュータ機器を使用するときは、以下のように快適で、生産性を向上させるような作業環境を整えることが重要です。

図 1-11 作業環境



- **作業面の高さ** - 作業面の高さが調整できるものを使用してください。作業面が正しい高さになるようにするには、まず床または傾斜付きのフットレストに足がしっかり着くように椅子の高さを調整します。次に、キーボードなどの入力デバイスに手を置いたときに、前腕部が床と平行になる高さまで作業面の高さを調節します。
- **椅子** - 使用する椅子は、高さと傾斜の調節機能があり、座面に丸みがあり、脚部が安定している、快適な姿勢を保てるものを使用してください（たとえば、脚が5本でキャスター付き、背もたれが調節可能、左右に回転でき、調節可能なクッション付きのアームレストのあるもの）。
- **モニター** - 画面の上端が目の高さと同じか、やや下（最大 15° ）になるようにモニターを配置します。
- **作業面上の配置** - モニタ、ドキュメントホルダー、キーボード、マウスなどの入力デバイス、およびヘッドホンやスピーカーなどの、HPワークステーションシステムを構成するすべての要素は、個々の好みに合わせて最適な配置と調節を行うようにしてください。たとえば、キーボードを主に使用する場合は、キーボードは脇に置かず、正面に置きます。作業中にマウスなどのポインティングデバイスを頻繁に使用する場合は、そのデバイスを右腕または左

腕の直前の位置に置きます。マウスとキーボードの両方を使用する場合は、これらを同じ高さの作業面上に隣り合わせに配置します。パームレストを使用する場合は、その高さがキーボードの前端部と同じものを使用してください。電話やメモなどの、その他の備品もよく考慮して配置してください。

注意

マウス、キーボードをはじめとする入力デバイスの使用状況によっては、不快感を感じたり、人体に悪影響を及ぼしたりする危険が増加することがあります。これらのデバイスを適切に配置して、最も快適で安全に作業を行えるようにしてください。

作業時の姿勢

同じ姿勢で長時間座り続けるのは、快適なことではありません。人体への苦痛や悪影響を及ぼす危険を最小限にするためには、正しい姿勢を保つことが大切です。

- **頭部** - モニタを見るときは、頭部の傾きは **15°** 以内になるようにしてください。また、頭部を左右に傾けないようにします。
- **背中** - 作業面の方向に向いて座っているときは、まっすぐか、後方にやや傾けた状態で背中が椅子の背もたれによって支えられるようにします。
- **腕** - 腕と肘の力を抜いてリラックスし、上腕部は床に対して垂直か、やや傾けた (**15°** 以内) の状態にします。前腕部と手は、肘を **70 ~ 115 度** 曲げた状態で床とほぼ平行になるようにします。肘は脇からあまり離しません (胴からの角度は **20°** 以下)。
- **手、手首、前腕** - マウスやキーボードなどの入力デバイスを操作するときは、手首と前腕部をリラックスした自然な位置に保つようにしてください。たとえば、キーボードやマウスを使用するときは前腕部をデスクトップ上にゆったりとのせませす。
- **脚** - 大腿部は水平またはやや前傾状態になるようにします。ひざから下は、大腿部に対してほぼ直角になるようにします。作業面と脚との間には十分な空間があるようにしてください。
- **足** - 椅子を調節した後に床に足が楽に着かない場合は、フットレストを使用します。なるべく高さと角度が調節可能なものを使用してください。

その他の人間工学上の問題

- ときどきスクリーンから目を離し、目の疲労をやわらげます。また、遠くのものに少しの間焦点を合わせ、一定の間隔でまばたきをして目の乾燥を防ぎます。さらに、定期的に目の検査を受け、眼鏡の度がコンピュータのモニタを見る作業に適した状態になるようにしてください。

ワークステーションのセットアップおよび使用方法

快適で安全な作業のために

- ときどき姿勢を変えたり、体を動かしたりすることを忘れずに実行してください。ある姿勢を長時間保つのは自然な状態ではないため、ストレスが多くかかります。長時間にわたって作業しなければならないときは、短い時間でも頻繁に休憩するようにします。およその目安として、**1時間ごとに5分から10分の休憩**を取るとよいでしょう。短い休憩を多くとる方が、長い休憩を少なくとるよりも効果的です。長時間にわたって休憩を取らずに作業すると、人体に悪影響を及ぼしやすいことがデータによって示されています。
- 時々別の作業を行うと、筋肉の硬直を防ぐのに役立ちます。たとえば、キーボード入力、読み書き、ファイリング、作業環境内での移動などの作業を交互に行うと、リラックスした姿勢を保てます。手や腕、肩や首、背中の筋肉をときどきストレッチします。少なくとも**1時間に1度**、作業を少し中断してストレッチを行ってください。
- 人間工学に基づいたデザインのものやアクセサリを使用すると、不快感が軽減されることがあります。たとえば、人間工学に基づいた専用の椅子、パームレスト、キーボードトレイ、代替入力デバイス、調整された眼鏡、ノングレア処理されたスクリーンなどです。詳細については、会社、医師、最寄りのオフィス用品販売店、およびオンライン版の「*Working in Comfort*」に記載された *Information Sources* などの情報源を利用して探してください。「*Working in Comfort*」は、当社のコンピュータ機器のハードディスクにプリインストールされているほか、当社の **Web サイト** (www.hp.com/ergo) から入手できます。

2 ワークステーションのトラブルシューティング

この章には、hp x1000 ワークステーションの基本的なトラブルシューティングについての主要情報が記載されています。

ハードウェアの問題の解決

この表には、基本的なトラブルシューティングのヒントが記載されています。詳細は、本書の「HP DiagTools によるハードウェアの診断」の項を参照してください。

表 2-1 ワークステーションが正常に起動しない

ワークステーションの電源が入りません。	
確認事項	対処方法
ワークステーションの電源コードがしっかりと接続されていますか。	通電しているコンセントとワークステーションの背面を電源コードで接続します。
ブザーが鳴ります。	
ワークステーションの起動時に特定のビープ音が鳴るのは、構成に問題があることを示しています。	
確認事項	対処方法
これは、ブート前の診断機能によるものです。この機能により、ワークステーションの問題が検出されます。	<ol style="list-style-type: none">1. ブザーが鳴った後のビープ音の回数を数えます (「ブート前の診断時の音による信号」の項を参照)。2. HP サポートに連絡します (54 ページを参照)。
問題が解決されない場合は、HP e-DiagTools または DiagTools を実行します (48 ページを参照)。	

表 2-2 ワークステーションのハードウェアに問題がある

キーボードが動作しません。	
確認事項	対処方法
キーボードのケーブルが正しく接続されていますか。	キーボードのケーブルを、ワークステーションの背面のキーボードコネクタに接続します。簡単に識別できるようにコネクタは色分けされています。
キーボードに異物がありませんか。	キーの高さがすべて同じかどうか、押されたままのキーがないかどうかを確認します。
キーボード自体に異常はありませんか。	正常動作している装置のキーボードと交換するか、キーボードを他のワークステーションで使用してみます。
適切なドライバを使用していますか。 Windows NT および Windows 2000 がインストール済みのすべてのシステムでは適切なドライバがプリインストールされています。他のオペレーティングシステムの場合は、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。	最新のドライバを以下の当社の Web サイトからダウンロードします。 www.hp.com/workstations/support (英語)、 www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語)
最新の BIOS を使用していますか。	最新の BIOS を以下の当社の Web サイトからダウンロードします。 www.hp.com/workstations/support (英語)、 www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語)
USB キーボード接続を使用する場合は、 Windows 2000 オペレーティングシステムを使用してください。	現在のところ、 Windows NT は USB 接続をサポートしていません。

ワークステーションのトラブルシューティング

ハードウェアの問題の解決

表 2-2 ワークステーションのハードウェアに問題がある (続き)

モニタが動作しません。	
ワークステーションの電源インジケータ ランプは点灯しますが、モニタには何も映りません。	
確認事項	対処方法
モニタの電源はオンになっていますか (LED が点灯していますか)。	LED の点灯状態 (緑色、オレンジ色、または点滅) についての説明は、モニタのマニュアルを参照してください。
モニタの電源コードは正しく接続されていますか。	電源コードを接続します。通電しているコンセントとモニタを電源コードで接続します。
グラフィックス カードが取り付けられていて、モニタ (ビデオ) ケーブルも正しく接続されていますか。	モニタ (ビデオ) ケーブルを接続します。ケーブルは、ワークステーションとモニタに正しく接続してください。ケーブルがグラフィックス カードのコネクタに接続されていることを確認してください。
モニタの明るさとコントラストは正しく設定されていますか。	モニタの OSD (オンスクリーンディスプレイ) またはモニタ前面の調節つまみやボタンを使用してモニタの設定を確認してください。
ブート時に画像が表示されますが、その後何も表示されなくなります。	
確認事項	対処方法

表 2-2 ワークステーションのハードウェアに問題がある (続き)

<p>ワークステーションでのモニタの設定が、使用しているモニタに適合していますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 2000: ワークステーションを再起動します。Startup 画面が表示されます。メッセージに従って F8 を押し、ワークステーションを VGA モードで起動します。ワークステーションが起動したら、ワークステーションのコントロールパネルで画面アイコンをダブルクリックし、設定タブをクリックします。スライドバーを使用して解像度を設定し直します。 • Windows NT: 起動時のメッセージに従って、VGA モードにします。
<p>ワークステーションは起動しても、問題が解決されない場合は、HP e-DiagTools を実行します (48 ページを参照)。</p>	
<p>マウスが動作しません。</p>	
確認事項	対処方法
<p>マウスのケーブルが正しく接続されていますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワークステーションの電源をオフにします (USB マウスでは必要ありません)。 2. マウス ケーブルをワークステーション背面の正しいコネクタに接続します (簡単に接続できるように色分けされています)。 3. ワークステーションの電源をオンにします。

ワークステーションのトラブルシューティング

ハードウェアの問題の解決

表 2-2 ワークステーションのハードウェアに問題がある (続き)

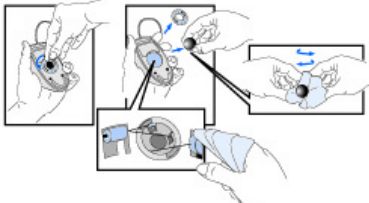
<p>適切なドライバを使用していますか。HP 社の拡張マウスを使用している場合は、正しいドライバをインストールしてください。このドライバは、Windows 2000 がインストール済みのシステムには含まれています。</p>	<p>最新のドライバを以下の当社の Web サイトからダウンロードします。</p> <p>www.hp.com/workstations/support (英語)、 www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語)</p>
<p>最新の BIOS を使用していることを確認します。</p>	<p>最新のドライバを以下の当社の Web サイトからダウンロードします。</p> <p>www.hp.com/workstations/support (英語)、 www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語)</p>
<p>マウスが汚れていませんか。</p>	<p>マウス ボールを以下の図のように清掃してください。</p> 
<p>マウス自体に異常はありませんか。</p>	<p>正常に動作している装置のマウスと交換するか、マウスを他のワークステーションで使用してみます。</p>
<p>ワークステーションは起動しても、問題が解決されない場合は、HP e-DiagTools を実行します (48 ページを参照)。</p>	

表 2-2 ワークステーションのハードウェアに問題がある (続き)

ワークステーションでサウンドが鳴りません。	
確認事項	対処方法
黄緑色のスピーカー / ヘッドホンコネクタがマルチメディア キーボードに差し込まれていますか。	黄緑色のコネクタを取り外して内蔵スピーカーを有効にするか、ヘッドホンまたはスピーカーをキーボードに接続します。

トラブルシューティングのヒント

- ワークステーションを再起動し、問題が再現されるかどうかを確認します。
- HP e-DiagTools** を実行します。これにより、ワークステーションのハードウェア プロファイル (サポート チケット) を作成できます。ハードウェア プロファイルは、サポート宛に **FAX** または電子メールで送ることができます。**e-DiagTools** の使い方の詳細については、この項で後述します。
- HP サポート Web サイト** (www.hp.com/workstations/support (英語)、www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語)) にアクセスし、発生している問題が既知のものであるかどうかを確認します。
- ワークステーションの **BIOS** をアップデートします。ご使用のワークステーションに対応した最新の **BIOS** および **BIOS** のアップデート手順は、**HP サポート Web サイト** (www.hp.com/workstations/support (英語)、www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語)) で入手できます。
- 問題を正確に説明できるように、問題の詳細を記録します。
- 問題が最初に発生する直前に行った作業をすべて思い出します。
- 可能なら、**HP サポート**に問い合わせの際にはシステムを稼動したままにし、システムの近くの場所にある電話を使用します。
- 当社製品の取り扱い店に連絡するか、混み合う時間帯 (お昼近く、あるいは平日夕方の早い時間) を避けて **HP サポート**に連絡することをお勧めします。

鍵を紛失したら

ワークステーションの鍵を紛失した場合には、**HP** 販売店、当社営業所またはサービス センタに、新しいロックをご注文ください (製品番号 : **5062-5590**)。ロックには鍵が **2** 本付属します。ロックの取り付けにつきましては、**HP** 販売店にご相談ください。

より詳細な情報が必要な場合

より詳細な情報は、**HP** サポート **Web** サイト (www.hp.com/workstations/support(英語)) の『*x1000 Technical Reference*』を参照してください。

ブート前の診断時の音による信号

ワークステーションを起動すると、BIOS はブート前の診断を実行してハードウェアの構成に問題がないかどうかをテストします。ブート前の診断中に問題が検出されると、ブート前の診断時にワークステーションの内蔵スピーカーから音で信号が発せられます。

ブート前の診断で発せられる音には、2 種類の連続音があります。1 つ目は、異常が検出されたことを示すもので、特殊な連続音です。この一連のトーンには、必要に応じて正規のヘルプデスクまたは HP サポートに電話を通じて送信できる電子信号も含まれています。この信号は、人間の耳で聞き分けることはできませんが、ヘルプデスクの装置を使用すればこの信号をデコードしてワークステーションのモデルとシリアル番号を読み取ることができます。

もう 1 種類の音は一連の長いビープ音で、特定のエラーを示すものです。このようなビープ音が鳴った場合は、ビープ音の数を数えてください。問題の原因を特定するのに役立ちます。

ビープ音の回数	説明
1	プロセッサが存在しないか正しく接続されていません。または ZIF ソケットが閉じられていません。
2	電源が保護モードになっています。
3	メモリが存在しないか、不良なメモリ モジュールまたは互換性のないメモリ モジュールが存在します。
4	グラフィックス カードに問題があります。
5	PnP またはワークステーションの初期化に問題があります。
6	BIOS に異常が発生しています。障害回復手順を実行する必要があります。
7	システム ボードに障害があります。

メモリ (コード 3)、ビデオ カード (コード 4)、プラグアンドプレイ/ワークステーション (コード 5) のエラーは、15 秒間の遅延があったときにのみビープ音が鳴ります。

ビープ音の回数が聞き取れなかった場合

ビープ音の回数が聞き取れなかった場合は、ON/OFF の電源ボタンを 5 秒以上押し、ワークステーションの電源をオフにしてから、もう一度信号音を聞きます。

HP DiagTools によるハードウェアの診断

注記 保証サービスについて当社に問い合わせる前に、**e-DiagTools** を実行してください。これは、サポート担当者から要求される情報を取得するために行います。

ハードディスクには、**HP DiagTools** または **HP e-DiagTools** というハードウェア診断ユーティリティが含まれているハードウェア診断用のパーティションがあります。これらのユーティリティは、**HP** ワークステーションのハードウェア関連の問題を診断するために使用します。このパーティションは削除しないでください。

このユーティリティでは、以下の作業を実行できます。

- ハードウェアの構成をチェックし、この構成が正常に機能していることを検査します。
- 個々のハードウェア コンポーネントをテストします。
- ハードウェア関連の問題を診断します。
- 完全なハードウェアの構成を取得します。
- **HP** サポート担当者が問題を迅速かつ効率的に解決できるよう、正確な情報を提供します。

このユーティリティについての詳細は、当社の **Web** サイト (www.hp.com/workstations/support(英語)) の『*x1000 Technical Reference*』を参照してください。

e-DiagTools の入手方法

HP e-DiagTools は、以下のメディアに収録されています。

- ハードディスク ドライブにプリインストールされているユーティリティ パーティション (推奨)
- ワークステーションに付属の以下の **CD-ROM**
 - *Image Creation and Recovery CD-ROM for x1000 Workstations*
- **HP DiagTools CD** この **CD-ROM** は、**HP** サポート **Web** サイト (www.hp.com/workstations/support(英語)、www.jpn.hp.com/go/ws_support(日本語)) からお申し込みいただけます。

ハードドライブ上のユーティリティ パーティションから e-DiagTools を起動するには

注記 この方法は、ハードディスク ドライブの診断用パーティションが削除されていない場合にのみ実行できます。

1. ワークステーションを再起動し、「**Press F10 to enter HP Utility Partition or any other key to proceed...**」というメッセージが表示されたら、ファンクション キーの **F10** を押します。
2. メニューで、**e-DiagTools** によるハードウェア診断を実行するオプションを選択します。

CD-ROM から e-DiagTools を起動するには

1. **e-DiagTools CD-ROM** を **CD-ROM** ドライブに挿入します。
2. ワークステーションを再起動します。
3. ハードウェア診断を実行するオプションを選択します。

注記 **CD-ROM** ドライブからブートできない場合は、ワークステーションを再起動して **F2** を押し、**HP Setup** プログラムを起動します。ブート デバイスの設定を確認し、ワークステーションが **CD-ROM** からブートできるように設定してください。

HP e-DiagTools の実行

確認事項

- ワークステーションのモデルが **CD-ROM** と一致している必要があります (**CD-ROM** はワークステーションの特定のモデルに対応付けられています)。
- ハードディスク ドライブより先に **CD-ROM** ドライブからブートするように構成されている必要があります。

サポート チケットの作成

システム構成とテスト結果を完全に記録するには、サポート チケットを作成する必要があります。サポート チケットとは、単純なテキスト ファイルで、部署または **HP** サポート担当者の役に立つ重要な情報を含んでいます。

ハードディスク ドライブから **HP e-DiagTools** を使用していて、ワークステーションが **TCP/IP**(インターネット) プロトコルを使用した **LAN** に接続されていれば、**e-DiagTools** から電子メールでサポート チケットを送信することができます。

CD-ROM から **HP e-DiagTools** を使用している場合は、サポート チケット ファイルをハードディスク ドライブまたはフロッピー ディスク ドライブのどちらにでも作成できます。

また、サポート チケット ファイルは、「**Support Ticket Viewer**」プログラムを使用して表示することもできます。

サポート チケット ファイルは電子メールか **FAX** で簡単に送信できます。

HP リカバリ CD-ROM

HP リカバリ CD は、コンピュータを工場出荷時の構成に復元したり、オペレーティング システムの変更や再構成、ドライバやその他の付属するソフトウェア コンポーネントのインストールを行うときに使用します。これらのドライバおよびソフトウェア ユーティリティは、マニュアルや操作ガイドを含んでおり、プリインストールされたソフトウェアのすべてまたは一部を復元できます。

利用可能な機能

HP リカバリ CD は、以下の機能を提供します。

- **Windows 2000 のインストール：**
HP ワークステーションを工場出荷時の元の状態に復元します。
- **Windows 2000 の最小インストール：**
Windows 2000 を最小限のドライバ セットを指定してインストールします (上級ユーザーのみの使用を推奨)。
- **Windows 2000 のマスタ ファイル：**
Windows 2000 のマスタ ファイルをハードディスクの \i386 ディレクトリにコピーします。
- **Windows NT への移行：**
NT の詳細なインストール手順は、オンラインで提供されている『*x1000 Technical Reference*』 (英語) (www.hp.com/workstations/support) を参照してください。
- **ヘルプ：**
ヘルプを表示します。

警告	HP リカバリ CD を使用して実行できる操作には、現在のハードディスクの内容を完全に消去するものがあります。CD-ROM を使用する前に、必ずデータおよび作成したファイルをバックアップしてください。
-----------	--

リカバリを行う前に

アップグレード、ダウングレードおよびリカバリを行う前に各種の機能のチェックリストを作成してください。**Setup** プログラムへの変更を行うには、管理者パスワードが必要になります。変更した内容は、書きとめておいてください。

- ワークステーションのモデルがリカバリ **CD-ROM** と一致している必要があります (**CD-ROM** はワークステーションの特定のモデルに対応付けられています)。
- すべてのデータ ファイルをバックアップし、必要に応じてソフトウェア アプリケーションもバックアップします。
- リカバリを行う前に最新バージョンの **BIOS** にアップグレードしておくことをお勧めします。
- **Setup** プログラムの設定 : **BIOS** レベルのパスワードを消去します。**Security** メニューで、**Hardware Protection** のすべての項目を“**Enabled**”または“**Unlocked**” (設定可能な場合) に設定します。また、**CD-ROM** からのブートが有効になっていることも確認します。**Boot** メニューの **Boot Device Priority List** で、ハードディスク ドライブより先に **CD-ROM** ドライブからブートするように構成されていることを確認してください。

フル リカバリの実行

ハードウェアの構成によって異なりますが、システムを完全にリカバリするには **30 分** から **2 時間** かかります。

警告	この手順を行うと、ハードディスク ドライブ (プライマリ パーティションを定義した場合はそのパーティション) の内容がすべて消去されますので、注意してください。すべてのデータ ファイルおよびソフトウェア アプリケーションをバックアップしておいてください。
-----------	---

1. オペレーティング システムをシャットダウンし、ワークステーションの電源をオフにします。
2. ワークステーションを工場出荷時の元の構成に復元するため、ワークステーションが到着してから追加した非標準コンポーネントをすべて取り外します。
3. リカバリ **CD-ROM** を **CD-ROM** ドライブに挿入し、ワークステーションを起動します。
4. **F8** キーを押し、最初のブート デバイスとして **CD-ROM** を選択します。

5. コンピュータが **CD-ROM** から起動し、**DOS** 形式のメニューが表示されます。メニューからオプション **1** を選択して **HP** ワークステーションを出荷時の元の状態に復元します。場合によっては、**Partitioning & Formatting** メニュー項目を設定する必要があります。これには、以下の **2** つのオプションがあります。

- **Automatic** (推奨)
- **Custom** (上級ユーザーのみに推奨)

特に指定が必要な場合を除き、**Automatic** を選択します。

6. 画面に表示される指示に従います。
7. 最初にハードディスク ドライブがフォーマットされます。この際、システムは何度か再起動します。これは正常な動作ですので、プロセスを中断しないでください。処理が正常に終了したことを示すメッセージが表示されるまで待ちます。
8. メッセージが表示されたら、リカバリ **CD-ROM** を **CD-ROM** ドライブから取り出します。
9. オペレーティング システムとドライバがインストールされます。この時点で、オペレーティング システムの設定を入力することが要求されます。

フル リカバリ機能を実行すると、コンピュータの元のディスク イメージが復元されます。ただし、**HP** サポート **Web** サイト (www.hp.com/workstations/support(英語)、www.jpn.hp.com/go/ws_support(日本語)) で提供している最新のドライバをインストールすることをお勧めします。

また、オリジナル モデルにアクセサリ ボードを増設していた場合には、これらのドライバもインストールする必要があります。フル リカバリを実行する前にバックアップしたすべてのデータ ファイルおよびソフトウェア アプリケーションも、ハードディスク ドライブ上に復元してください。

hp カスタマ ケア センタの電話番号

HP カスタマ ケア センタでは、当社製品についての問題を解決するためのサポートを行っております。また、必要に応じて適切なサービス手続きを開始します。米国では、電話サポートは **24 時間、365 日** ご利用いただけます。それ以外では、通常の営業時間帯にご利用いただけます。hp カスタマ ケア センタの電話番号は、

http://www.hp.com/workstations/support/collaborate/call_centers.html (英語)、
または http://www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語) を参照してください。

A 保証および規制に関する情報

Declaration of Conformity according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014	
Manufacturer:	Hewlett-Packard Company 3404 East Harmony Rd. Fort Collins, CO 80528 USA
Declares that the:	
Product Name:	HP x1000 Workstation
Model Numbers:	A6068A, A7215A, A7216A, A7218A, A7218B, A7223A, A7223B, A7224A, A7224B, A7230A, A7232A, A7233A, A7234A, A7236A, A7237A, A7238A, A7263A, A7264A, A7265A, A7266A, A7267A, A7282A, A7773A, A7774A, A7775A, Y1734A, Y1735A, Y1736A, Y1737A, Y1738A, Y1739A
Base Product Number:	A1280A
Product Options:	all
conforms to the following specifications:	
Safety	IEC 950:1991+A1+A2+A3+A4+A11/EN 60950:1992+A1+A2+A3+A4 IEC 60825-1:1993/EN60825-1:1994+A11 Class 1 for LEDs USA 21CFR Subpart J - for FC Laser module China GB4943-1995 Russia GOST R 50377-92
EMC	CISPR 22: 1997 / EN 55022: 1998 Class A CISPR 24: 1997 / EN 55024: 1998 IEC 61000-3-2: 1995 / EN 61000-3-2: 1998 IEC 61000-3-3: 1994 / EN 61000-3-2: 1995 U.S. FCC Part 15, Class A Japan VCCI Class A Australia/New Zealand AS/NZS 2046.1/2:1992, AS/NZS 3548:1995 China GB9254-1988 Taiwan CNS13438 Class A Russia GOST R 29216-94
and is certified by:	
	UL Listed to UL1950, 2nd edition, File E146385 cUL Listed to CSA 22.2 No. 950-M93 TUV Certified to EN60950 2nd edition with A1+A2+A3+A4+A11 HP Fort Collins CCQD HTC
supplementary information:	
The product herewith complies with the requirements of the following Directives and carries the CE marking accordingly:	
- the EMC directive 89/336/EEC and 92/31/EEC and 93/68/EEC - the Low Voltage Directive 73/23/EEC and 93/68/EEC	
This product was tested in a typical Hewlett-Packard workstation configuration.	
For Compliance Information ONLY, contact: European Contact: Your local Hewlett-Packard Sales and Service Office or Hewlett-Packard GmbH, Dept. HQ-TRE Standards Europe, Herrenberger Strasse 130 Boeblingen (FAX: +49-7031-14-3143) Americas Contact: Hewlett-Packard, Fort Collins Site Quality Mgr., Mail Stop 64, 3404 E. Harmony Road, Fort Collins, CO 80528, U.S.A.	

規制についての情報

FCC (for USA only)

Federal Communications Commission Radio Frequency Interference Statement

NOTE:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules and the Canadian Department of Communications. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Hewlett-Packard's FCC Compliance Tests were conducted with HP-supported peripheral devices and HP shielded cables, such as those you receive with your system. Changes or modifications not expressly approved by Hewlett-Packard could void the user's authority to operate the equipment.

notice for Canada

This Class A digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la Class A respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

safety warning for the USA and Canada

If the power cord is not supplied with the computer, select the proper power cord according to your local national electric code.

USA: use a UL listed type SVT detachable power cord.

Canada: use a CSA certified detachable power cord.

For your safety, never remove the Workstation's cover without first removing the power cord and any connection to a telecommunication network. Always replace the cover before switching on again.

Si le cordon secteur n'est pas livré avec votre ordinateur, utiliser un cordon secteur en accord avec votre code électrique national.

USA: utiliser un cordon secteur "UL listed," de type SVT.

Canada: utiliser un cordon secteur certifié CSA.

保証および規制に関する情報
規制についての情報

Pour votre sécurité, ne jamais retirer le capot de l'ordinateur sans avoir préalablement débranché le cordon secteur et toute connection à un réseau de télécommunication. N'oubliez pas de replacer le capot avant de rebrancher le cordon secteur.

notice for the Netherlands

Bij dit apparaat zijn batterijen geleverd. Wanneer deze leeg zijn, moet U ze niet weggooien maar inleveren als KCA.

notice for Germany

Wenn die Batterie nicht korrekt eingebaut wird, besteht Explosionsgefahr. Zu ihrer eigenen Sicherheit sollten Sie nicht versuchen, die Batterie wiederaufzuladen, zu zerlegen oder die alte Batterie zu verbrennen. Tauschen Sie die Batterie nur gegen den gleichen oder ähnlichen Typ aus, der vom Hersteller empfohlen wird. Bei der in diesem PC integrierten Batterie handelt es sich um eine Lithium-Batterie, die keine Schwermetalle enthält. Batterien und Akkumulatoren gehören nicht in den Hausmüll. Sie werden vom Hersteller, Händler oder deren Beauftragten kostenlos zurückgenommen, um sie einer Verwertung bzw. Entsorgung zuzuführen.

noise declaration for Germany

Lärmangabe nach Maschinenlärmverordnung - 3 GSGV (Deutschland) LpA < 70 db am Arbeitsplatz normaler Betrieb nach EN27779: 11.92.

notice for Japan (Class A)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

notice for Korea

사용시 안내문 (A급 기기)

이 기기는 업무용으로 전자파장애감정을 받은
기기이오니, 만약 잘못 구입하셨을 때에는 구입
한 곳에서 비업무용으로 교환하시기 바랍니다.

notice for Taiwan

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在居住的
環境中使用時，可能會造成射頻
干擾，在這種情況下，使用者會
被要求採取某些適當的對策。

HP ハードウェア保証

重要：これはハードウェア製品の保証書です。十分注意してよくお読みください。

保証条件は、国によって異なる場合があります。詳細は、正規の HP 販売店または当社営業所およびサービス センタまでお問い合わせください。

当社製品には、新品と同じ性能の再生部品が使用されていることがあります。また、一時的使用を条件に、再生部品を使用することがあります。

システム プロセッサ ユニットへの外付けの当社製品（外部記憶サブシステム、ディスプレイ、プリンタ、および他の周辺装置）は、その製品に適用される保証の対象となります。当社製ソフトウェアは、HP ソフトウェア製品限定保証の対象となります。

豪州およびニュージーランドのお客様との取り引きについて：本保証書記載の保証条件は、法的に認められる場合を除き、本製品の販売に適用される法律上の強制的権利を除外、制限、または修正するものではなく、この権利に追加されるものです。

3 年間限定ハードウェア保証

ヒューレット・パカード社（当社）は、お客様が製品を受領したときから **3 年間**、素材および製造上の瑕疵に対してハードウェア製品を保証します。

3 年間の保証には、ご使用 **1 年目**の出張サービス（部品および作業費は無料）、および **2 年目**と **3 年目**の使用期間中の当社サービス センターまたは、正規の HP コンピュータ取り扱い修理センターによる部品サービスが含まれます。

上記で定めた瑕疵の通知を当社が保証期間内に受領した場合は、当社はその裁量により、瑕疵であると判断した製品を修理または交換するものとします。

当社が妥当な期間内に製品の修理または交換が実行できない場合は、その製品の返却時に購入代金をお客様に返却いたします。

システム プロセッサ ユニット、キーボード、マウス、およびシステム プロセッサ ユニット内部の当社製アクセサリ（ビデオ アダプタ、大容量記憶装置、およびインタフェース コントローラなど）が本保証の対象となります。

本保証は、特定の条件（最寄りの当社営業所にお問い合わせください）に基づき、当社または正規の HP コンピュータ販売店から購入された製品に世界各国にわたって適用されます。元の購入者が使用するために購入した製品、または元の購入者がシステムの付属部品として組み込んだ製品もこの保証の対象になります。使用国で製品の保証が有効な場合、その製品を使用国で購入した場合と同様のサービスが提供されますが、その製品が使用国で動作するように設計されている

場合に限られます。使用国で、その製品を通常当社が販売していない場合は、購入国にご返送後、サービスを受けていただくことになります。出張サービスを行うまでの時間、および部品が届くまでの時間は、現地で部品が調達できない場合は標準的な条件とは異なることがあります。

保証限度

上記の保証は、誤用、不正な変更、製品の環境仕様外での動作もしくは保管、輸送時の損傷、不適切な保守作業、または他社のソフトウェア、アクセサリ、媒体、備品、消耗品、もしくはこの製品での使用を目的として設計されていないものから生じた瑕疵には適用されないものとします。

バンドルまたはプリロードされたソフトウェアをワークステーションに再ロードすることは、当社の保証対象ではありません。

当社は、本製品に関し、書面または口頭を問わず他の保証は一切行いません。商品性または適合性の黙示保証は、本文書による保証の 3 年間に限定されます。国または州によっては黙示保証の期間制限が認められていませんので、上記の制限ないし免責は適用されない場合があります。

この保証は特定の法的権利を付与しますが、国や州によっては他の権利が与えられる場合があります。

責任および補償の制限

上記の補償は、お客様の独占的かつ排他的補償です。当社は、いかなる場合においても直接的、間接的、特別、付随的、または派生的損害（失われた収益を含む）に対し、保証、契約、不法行為、または他のいかなる法理論を問わず、その責は一切負わないものとします。

上記の責任制限は、この取り決めに従って販売された当社製品が、瑕疵があり、人身傷害、死亡、財産損害の直接的な原因であると正当な管轄権を有する裁判所によって裁決された場合には適用されません。ただし当社の財産損害責任は、**\$50,000** または損害を引き起こした製品の購入価格を超えないことを条件とします。

国または州によっては付随的または派生的損害（失われた収益を含みます）に対する免責または制限が認められないため、上述の制限または免責は適用されない場合があります。

出張保証サービスの受け方

出張修理保証サービスを受ける場合は、当社営業所およびサービス オフィス、修理受付サポート窓口（電話番号：**0120-742-594**）、または **HP** コンピュータ正規販売代理店までお問い合わせください。その際には、購入日を証明できるものをご提示ください。

保証対象品は、システム プロセッサ ユニット、キーボード、マウス、およびシステム プロセッサ ユニット内の当社製アクセサリ（ビデオ アダプタ、大容量記憶装置、インタフェース コント

保証および規制に関する情報

HP ハードウェア保証

ローラなど)です。

保証期間中は、お客様が取替可能なコンポーネント(マウス、キーボードなど)は、お客様との合意のもとで部品を発送いたします。この場合、発送費用は当社が負担いたします。必要に応じてコンポーネントの交換について電話によるサポートをいたします。また、当社が返送をお願いする故障部品の送付に係る費用についても当社が負担いたします。

システム プロセッサ ユニットの内部外部を問わず、不具合の原因が当社以外の製品に起因することが判明した場合は、このサービスに係った費用(サービスエンジニア派遣費、作業費など)を請求させていただきます。

本製品の出張サービスは、特定の地域では制限があるか、不可能な場合があります。地理的条件、道路状況、または適切な公的交通機関がなく通常の移動が不可能な地域では、別途契約あるいは追加費用をその都度ご相談させていただきます。

当社出張サービスの応答時間は、当社サービス オフィスから **160km** 圏内では通常翌営業日です(当社休日を除きます)。**320km** 圏内では翌々営業日、**480km** 圏内では翌々々営業日です。**480km** を超える地域については、ご相談させていただきます。各国のカスタマ サポートについての情報は、当社営業所およびサービス オフィスにお問い合わせください。

取り扱い店または販売代理店のエリア制限および応答時間は、加盟取り扱い店または販売代理店によって規定されています。

時間外または休日のサービス、通常の応答時間より早い緊急修理サービス、または出張サービス対象地域外でのサービスに関するサービス契約は、特別対応サービス料金を頂くことにより提供可能な場合があります。詳しくは、当社、正規取り扱い店、または正規販売代理店にご相談ください。

お客様の責任

出張サービス訪問または交換用部品の発送の前に、当社提供の診断プログラムをお客様に実行していただく場合があります。

お客様の所有物および秘密情報の安全確保、およびファイル、データ、プログラムが消滅または変更された場合に復元するための対策は、お客様側の責任で行ってください。

製品にアクセスできるようにし、製品からの距離が適度な場所に十分な作業スペースと設備を用意してください。製品の保守に必要な情報と設備をご提供いただく必要があります。また、通常の運用時に使用される備品や消耗品もご提供いただくようお願いいたします。

お客様の代理人には、常に立ち会っていただく必要があります。製品の使用環境が修理担当者の健康を害する危険がある場合は、その旨を修理担当者にお伝えください。当社またはサービス取り扱い店の直接の監督のもと、お客様側の保守担当者に製品の保守を行っていただく場合があります。

部品保証サービスの受け方

部品保証サービスが適用されるときは、交換用部品の発送前に当社提供の診断プログラムをお客様に実行していただく場合があります。その際には、購入したことを証明できるものをご提示ください。

当社が要求した場合は瑕疵のある部品を返却しなければなりません。この場合は、当社部品サービス センターへの部品の返却にかかる費用は当社が負担いたします。

電話サポート サービス

ワークステーションの無料電話サポートは、購入日から **1** 年間ご利用いただけます。このサービスは、**HP** ワークステーションの基本的構成およびセットアップ、およびバンドルまたはプリロードされているオペレーティング システムに対する技術サポートを提供するものです。

当社では、ネットワーク サーバとして構成されたワークステーションに対する電話サポートは行っておりません。ネットワーク サーバには、**HP NetServers** をお勧めします。

HP ソフトウェア製品限定保証

この HP ソフトウェア製品限定保証では、当社製品の一部として提供されるオペレーティング システム ソフトウェアを含め、すべての当社ソフトウェア製品を対象とします。当社の保証条件と当社以外の保証条件が重複する場合は、当社の保証条件が優先するものとします。

ソフトウェア

HP ソフトウェア製品の保証

当社は、すべてのファイルが正しくインストールされた場合において、プリインストールされたすべての当社製ソフトウェア製品がプログラミング命令を実行することを購入日から **90 日間**保証します。当社は、ソフトウェアが中断しないこと、またはエラーがないことは保証しません。保証期間中にソフトウェア製品がプログラミング命令を実行しない場合は、当社が提供するソフトウェアと交換していただくか、製品、すべてのソフトウェア、インストール マニュアルを返却し、リモート サポート（電話または電子メール）を解除していただいた上で購入代金を返却いたします。

他社製ソフトウェア製品（提供されている場合）について：他社製ソフトウェア製品のすべては、ソフトウェア ベンダによって保証されます。当社では保証しません。

オペレーティング システム

マイクロソフト社製オペレーティング システムおよびソフトウェア

当社は、購入日から **1 年間**に限り、プリインストールされたバージョンのオペレーティング システムおよびソフトウェアが正しくインストールおよび構成されていることを保証します。当社は、オペレーティング システムの機能、ソフトウェアが中断しないこと、およびソフトウェアにエラーがないことは保証しません。保証期間内において、インストールと構成の両方またはいずれかの作業中にソフトウェアがプログラミング命令の実行に失敗した場合は、当社は再インストールおよび構成を行うためのリモート サポート（電話および電子メール）を提供いたします。

その他の他社製オペレーティング システムについて：他社製オペレーティング システムは、オペレーティング システム ベンダによって保証されます。当社では保証しません。

リムーバブル メディア（提供されている場合）

当社は、リムーバブル メディアが提供されている場合、通常の使用状態において材料または製造上の瑕疵なくこのメディアに記録できることを購入日から **90 日間**保証します。保証期間中に瑕疵があることが判明した場合は、当社が提供するメディアと交換していただくか、メディアを

返品し、非リムーバブル メディアに複製したソフトウェアをすべて破棄していただいた上で購入代金を返却いたします。

当社サービス手続き

保証請求の通知：保証請求は、保証期間終了後 30 日以内に書面にて当社まで通知してください。

保証の制限：当社は、書面または口頭を問わず、本製品に関して他の明示的保証を一切行いません。商品性または特定目的に対する適合性の黙示保証は、本書記載の保証の 90 日間に限定されます。誤用、不正な変更、不適切な保守作業、または当社以外の機器とともに不正に使用して生じた瑕疵の場合は、当社はその責を負いません。

責任および補償の制限：上記の補償は、お客様の独占的かつ排他的補償です。当社は、いかなる場合においても直接的、間接的、特別、付随的、または派生的損害（失われた収益を含む）に対し、保証、契約、不法行為、または他のいかなる法理論を問わず、その責は一切負わないものとします。

本保証は、お客様の制定法上の権利を侵害するものではありません。

保証サービスの受け方：保証サービスは、最寄りの当社営業所または当社 Web サイトに示されている他の場所で受けることができます。

HP ソフトウェア ライセンス契約

当社製品には、ソフトウェア プログラムが含まれています。

本製品を使用する前にライセンス契約および限定保証書をよくお読み下さい。ライセンス契約のすべての条件に同意する場合のみ、ソフトウェアの権利が提供されます。製品の使用をもって条件に同意したものとします。ライセンス契約の条件に同意しない場合は、速やかにソフトウェアをハードディスク ドライブから削除し、マスター ディスクを破棄するか、完全な状態の当社製品およびソフトウェアを返却して購入代金の返却を受けてください。構成の使用をもってライセンスの条件に同意したものとします。

以下に別途記載されている場合を除き、この HP ソフトウェア製品ライセンス契約は、当社コンピュータ製品の一部として提供されるすべてのソフトウェアの使用に適用されるものとし、オンラインまたは当社製品の梱包内の資料にある他社製ソフトウェア ライセンスの条件は破棄されるものとします。

マイクロソフト社のオペレーティング システムおよびソフトウェア アプリケーションは、マイクロソフト社のドキュメンテーションに記載されたマイクロソフト ライセンス契約、またはマイクロソフト ソフトウェア製品の実行時に画面に表示されるマイクロソフト ライセンス契約に基づいてライセンスされています。当社以外のソフトウェアおよびオペレーティング システムは、適切なベンダによってライセンスされています。以下のライセンス条件は、当社ソフトウェア製品の使用に適用されます。

使用：ソフトウェアは、1 台の当社製品でのみ使用できます。ソフトウェアをネットワーク上で

保証および規制に関する情報

HP ソフトウェア製品限定保証

使用すること、または複数の当社製品で使用することはできません。法律で許可されている場合を除き、逆アセンブルおよび逆コンパイルは禁止されています。

複製および改作：ソフトウェアの複製および改作は、(a) 保管目的 (b) 当社製品でのソフトウェアの使用上複製または改作が必要不可欠な手順である場合は、複製または改作物を他の目的で使用しない限り、許可されます。

所有権：物理的なメディアの所有権を除き、ソフトウェアの権利または所有権を持たないことに同意します。ソフトウェアには著作権が設定されており、著作権法に基づいて保護されていることを認めるとともに同意します。また、ソフトウェアがソフトウェアの著作権表示に記されているソフトウェア会社によって開発されたものであり、ソフトウェア会社は著作権侵害または契約違反について責任を問う権限を有することを認め、同意します。

製品のリカバリ CD-ROM：当社製品に製品のリカバリ CD-ROM が付属する場合、(i) 製品のリカバリ CD-ROM とサポート ユーティリティ ソフトウェアの両方またはいずれかは、製品のリカバリ CD-ROM が本来付属した当社製品のハードディスクを復元する目的にのみ使用することができます。(ii) 製品のリカバリ CD-ROM に付属するマイクロソフト社のオペレーティング システムの使用には、マイクロソフト ライセンス契約が適用されるものとします。

ソフトウェアの権利の譲渡：ソフトウェアの権利は、すべての権利の譲渡の一部とする場合、および本ライセンス契約の条件に第三者が拘束されることの事前合意を得た場合のみ、第三者に譲渡することができます。譲渡するときには、ソフトウェアの権利が消滅すること、およびソフトウェアの複製および改作物を破棄または第三者に引き渡すことに同意しなければなりません。

サブライセンスおよび配布：当社の書面による事前承諾なく、物理的なメディアまたは遠隔通信によってソフトウェアのリース、サブライセンス、またはソフトウェアの複製や改作物の配布は実行できません。

契約の終了：当社は、お客様が契約条件に従わない場合、契約の履行を要求したにもかかわらず、その通知から 30 日以内に履行しなかったときには、ソフトウェア ライセンスを終了することができます。

アップデートおよびアップグレード：お客様は、別のサポート契約に基づいて当社から利用可能なアップデートおよびアップグレードはソフトウェアに付属しないことに同意します。

輸出条項米国輸出：管理法または他の適用法に違反してソフトウェア、複製、または改作物の輸出または再輸出を行わないことに同意する必要があります。

米国政府の制限権利：使用、複製、開示は当社の標準商業ライセンス条項に準拠し、国防総省以外の省庁および米国政府の機関に対するヒューレット・パッカード社の権利 (3000 Hanover Street, Palo Alto, CA 94304 U.S.A. Copyright (c) 2000 Hewlett-Packard Company) は FAR 52.227-19(c)(1,2) (1987 年 6 月) に示されています。

著作権表示：お客様はさらに、DFARS 252-227-7014 (1995 年 6 月) で定義されている「商業用コンピュータ ソフトウェア」、FAR 2.101(a) で定義されている「商業用品目」、または FAR

52.227-19(または、それに相当する機関条例ないし契約条項)で定義されている「限定コンピュータ ソフトウェア」のいずれかの対象であるものとして、ソフトウェアが配布およびライセンスされていることに同意するものとします。お客様は、適用される **FAR** 条項ないし **DFARS** 条項、またはかかる製品に関する当社の標準ソフトウェア契約によって、このソフトウェアに関する権利のみを保有することに同意するものとします。

オペレーティング システムのサポート パックに対するサポート方針：当社は、最新のサービスパックを含め、マイクロソフト社のオペレーティング システムを使用する **HP** ワークステーションに対するエンド ユーザー サポートを提供します。本サポートが利用できるのは、ソフトウェアがリリースされてから **30** 日以内です。



© 2001 Hewlett-Packard Company
© 2001 日本ヒューレット・パカード株式会社

E1001
Printed Japan

manufacturing part number



A7777-90004